

大崎町長
東 靖弘



5期目への挑戦

『未来へつなぐまちづくり』
みんなで作ろう、おおさき

明けましておめでとうございませう。

皆さま方におかれまして

は、希望に満ちた輝かしい新春をご家族おそろいでお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃より町政に対する深いご理解とご協力を賜り、お礼申し上げます。

昨年末に、町民の皆さま方のご信任を賜り、引き続き町長として5期目の任を仰せつかることとなりました。その責任の重さに身を引き締めながら、町民の皆さま方の期待と信頼にお応えできるよう精一杯努力して参りますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

さて、これまでの4期16年を振り返ってみますと、『まちづくりへの挑戦』を

掲げた1期目は、若者などの定住化を目指したPFI構想による住宅『グランステラ大崎』の整備のほか、農業や水産業、金型やシラス関連の企業など、多くの企業立地が実現し、『雇用機

会の拡大や、地域経済の振興など成果を挙げる事ができました。また、公約に掲げたスポーツ振興を目的とした陸上競技場整備や、農業発展のための農業公社創設は、1期4年間では困難であり、政策実現の難しさを痛感いたしました。

於農業共済組合・農業委員会・町が連携し、農業関連の情報や業務上のサービスを二元的に行う農業振興センターを設置し、農業公社の機能を補完することができました。

1期目の就任から3期目前半までは、激動の期間であつたように思います。合併問題を問う住民投票による単独の選択、厳しい行財政改革の断行、町立保育所の民間移管、少子化の進行による中学校の統合、口蹄疫の防疫対策など、山積する課題に対し、議会や町民の皆さま方のご理解と協力、共に歩んできた職員

の英知と努力は、大きな『力』となり、新たなまちづくり

の原動力になりました。心から感謝しています。

3期目の後半から4期目にかけては、防災行政無線や光ケーブルの整備、町内3中学校の統合による新生大崎中学校のスタート、東九州自動車道の開通に伴う野方インターチェンジの供用開始と道の駅『野方あ

さの』のオープン、大隅陸上競技トレーニング拠点施設（仮称）の着工（県営・平成30年度完成予定）、農業関連企業の立地など、さまざまな分野において多くの実績を挙げてまいりました。近く野方インターチェンジ付近に物流企業の立地も予定されており、長い年月をかけて努力してきたも